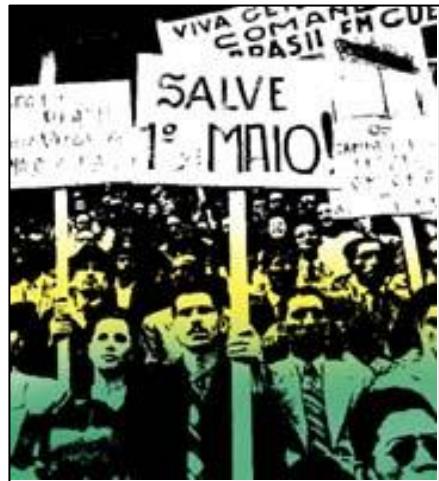


## 記念日のいわれ No.3

### 5月1日…メーデー (Dia Mundial do trabalho)

日本でも、メーデーの名前で知られている国際的な労働者の記念日。

1886年5月1日、アメリカ・シカゴを中心に8時間労働制要求(8-hour day movement)の統一ストライキを行ったのが起源です。そのストライキは、「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」を目標に行われました。アメリカとカナダの労働者34万人がシカゴで大規模なデモを行い、警察はこれを防止しようとして衝突、多数の負傷者を出しました。労働者は3日後、大会を開いて警察に抗議したのですが、これを解散させようとした警察と再び衝突。この時爆弾で警察官一人が死亡したことから、リーダーと見られる7名が逮捕され、うち1人は自殺、4人が死刑となってしまいました。1889年パリで開かれた「第2インターナショナル」という会議で、この日を「万国の労働者の団結の日」として定め、以来各国で労働者の行事が行われるようになりました。ブラジルでは、1925年から国定祝日に加えられています。



(ブラジルにおけるメーデーの活動…1942年ごろの様子)

話は変わって、ブラジルの祝日は特別な場合や法律で決められた職業を除き、休業することになります。そして、国定祝日と臨時祝日と大きく二つに分けられます。国定祝日は1949年に法律によって定められたもので、臨時祝日は大統領や州知事、郡・市長によりその都度発令されるものです。とはいっても、この臨時祝日はほぼ毎年恒例となっていて、その日が来るとほぼ全てが発令されているようです。1925年頃は、国定祝日と臨時祝日をあわせた休みが、1年のうち約1ヶ月にもなるところがでてきて、あまりにも多すぎることで近年次第に数が減っています。

ちなみに5月1日はブラジルの国民的英雄、F1ドライバーの「アイルトン・セナ」がイタリアのイモラにあるサーキット場で事故死した日でもあります。1994年の事故はあまりに衝撃的でした。彼の遺体は国葬に付され、サンパウロのモルンビー墓地のプレートの下で安らかに眠っています。音速の貴公子と呼ばれて、日本のファンも多かった彼の墓には緑色のジュータンが敷かれ、今でも追悼に訪れる人の献花が絶えません。